

令和元年度 宮崎県総合防災訓練

2019年11月18日

11月10日(日)に県内の各会場にて、令和元年度 宮崎県総合防災訓練が下記の訓練想定のもとに行われました。

なお、今年度は九州各県の消防やDMATが参加する「緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練」及び「九州・沖縄地区DMAT実働訓練」と同時開催され、当協会に於いては高原町立高原中学校構内にて防災パネルを展示し、防災意識の啓発活動を行いました。

【災害想定・被災想定】

1. 地震の規模

11月9日(土)、天候:強い雨

宮崎県南部山沿いを震源とするマグニチュード 7.3(震度 6 弱)の地震が発生。

2. 被災想定

地震により各地で甚大な被害が発生、都城市と高原町にまたがる御池が決壊。また、地震により新燃岳では爆発的な噴火が発生し、噴火に伴う降灰が、霧島市・都城市を含む山の南東側を中心に広い範囲に及び、大雨の影響による土石流も発生する恐れがある。

訓練状況(防災パネル展示)



訓練状況(他機関)



青年部集合写真



現在、宮崎県では南海トラフによる地震・津波等懸念される災害が身近にあります。
このような防災訓練を通じて、皆様の積極的な防災対策や防災意識の向上につなが
れば幸いです。

(記事:青年部広報委員会)